



2024年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年3月11日

上場会社名 株式会社浜木綿 上場取引所 東・名
 コード番号 7682 URL <https://www.hamayuu.co.jp>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 林 永芳
 問合せ先責任者（役職名） 取締役業務部長（氏名） 三浦 祐明（TEL）052-832-0005
 四半期報告書提出予定日 2024年3月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（当社ウェブサイトにて決算説明動画を掲載予定）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年7月期第2四半期の業績（2023年8月1日～2024年1月31日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年7月期第2四半期	2,950	14.1	154	838.1	156	780.9	106	215.6
2023年7月期第2四半期	2,584	12.6	16	—	17	△91.3	33	△75.1
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年7月期第2四半期	49.64		—					
2023年7月期第2四半期	15.76		—					

（注）当社は、2023年8月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年7月期第2四半期	4,232	1,513	35.8
2023年7月期	3,857	1,414	36.7

（参考）自己資本 2024年7月期第2四半期 1,513百万円 2023年7月期 1,414百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年7月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2024年7月期	—	0.00			
2024年7月期（予想）			—	10.00	10.00

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、2023年8月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2023年7月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。2024年7月期（予想）については、株式分割後の内容を記載しております。

3. 2024年7月期の業績予想（2023年8月1日～2024年7月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,763	9.3	200	65.5	198	62.6	110	—	51.36

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、2023年8月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。1株当たり当期純利益は、株式分割後の金額を表示しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年7月期2Q	2,158,150株	2023年7月期	2,155,000株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2024年7月期2Q	842株	2023年7月期	794株
------------	------	----------	------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年7月期2Q	2,155,112株	2023年7月期2Q	2,151,343株
------------	------------	------------	------------

(注) 当社は、2023年8月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式」、「期末自己株式」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料及び決算説明動画については、当社ウェブサイトへの掲載を予定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(2023年8月1日から2024年1月31日まで)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による影響が収束されたことで、社会経済活動の正常化が進展し、個人の消費マインドが改善するとともに景気回復への動きも緩やかに見られました。しかしながら、物価上昇やインフレの進行による影響に加え、中国経済の停滞や緊迫した海外情勢などにより景気が減速する懸念もあり、依然として先行き不透明な状況となっております。

外食業界におきましては、人流の回復に加え、インバウンド消費の拡大も追い風となり、外食需要は堅調に推移いたしました。その一方で、円安の常態化を背景にした原材料価格の高止まりや、慢性的な労働力不足の影響もあり、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社におきましては、「新町中華」をコンセプトとした日常マーケット新業態の出店強化として、2023年9月に「中国食堂はまゆう 野並店」(名古屋市天白区)を新規に出店いたしました。また、既存業態店舗につきましては、2023年10月に、浜木綿業態では「季節先取り牡蠣クンポーフェア」、四季亭業態では「秋のふかひれ堪能祭り」をそれぞれ実施し、集客に努めました。さらに、消費者のライフスタイルの変化に対応した店舗づくりを行うための改装を実施し、2023年9月に「浜木綿 黒川店」(名古屋市北区)、同年11月に「浜木綿 春日井店」(愛知県春日井市)をそれぞれリニューアルオープンいたしました。

一方、退店につきましては「浜木綿 青葉台南店」(横浜市青葉区)を1店舗実施いたしました。

これにより、当第2四半期会計期間末現在の店舗数は、「浜木綿」30店舗、「四季亭」3店舗、「桃李蹊」3店舗、「中国食堂はまゆう」4店舗の合計40店舗(すべて直営店)となっております。

以上の結果、当第2四半期累計期間における売上高は2,950百万円(前年同期比14.1%増)、営業利益は154百万円(前年同期比838.1%増)、経常利益は156百万円(前年同期比780.9%増)、四半期純利益は106百万円(前年同期比215.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産額は4,232百万円、負債は2,718百万円、純資産は1,513百万円であり、自己資本比率は35.8%となりました。

(流動資産)

流動資産につきましては前事業年度末に比べ227百万円増加し、1,622百万円となりました。これは主に現金及び預金が285百万円増加したことによるものであります。

(固定資産)

固定資産につきましては前事業年度末に比べ146百万円増加し、2,609百万円となりました。これは主に有形固定資産が126百万円増加したことによるものであります。

(流動負債)

流動負債につきましては前事業年度末に比べ123百万円増加し、1,031百万円となりました。これは主に未払法人税等が56百万円、未払金が41百万円増加したことによるものであります。

(固定負債)

固定負債につきましては前事業年度末に比べ152百万円増加し、1,687百万円となりました。これは主に長期借入金110百万円、リース債務が37百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産につきましては前事業年度末に比べ98百万円増加し、1,513百万円となりました。これは主に利益剰余金が85百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は前事業年度末に比べ263百万円増加し、1,179百万円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果増加した資金は303百万円（前年同期は200百万円の増加）となりました。これは主に税引前四半期純利益141百万円、減価償却費80百万円を計上したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果減少した資金は145百万円（前年同期は322百万円の増加）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出162百万円を計上したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果増加した資金は104百万円（前年同期は540百万円の減少）となりました。これは主に長期借入れによる収入250百万円により増加した一方、長期借入金の返済による支出111百万円により減少したものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年7月期の業績予想につきましては、2023年9月11日に公表いたしました業績予想から、現時点において変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年7月31日)	当第2四半期会計期間 (2024年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	963,603	1,248,834
預け金	22,481	558
売掛金	26,288	13,985
有価証券	14,738	—
商品及び製品	54,165	66,479
仕掛品	104	24
原材料及び貯蔵品	55,927	54,054
前払費用	97,701	71,218
未収入金	154,434	160,118
その他	6,223	7,709
流動資産合計	1,395,668	1,622,984
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	877,312	927,871
構築物(純額)	90,179	91,861
機械及び装置(純額)	8,705	9,170
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品(純額)	52,013	71,243
土地	665,864	665,864
リース資産(純額)	64,135	92,394
建設仮勘定	36,069	62,194
有形固定資産合計	1,794,279	1,920,599
無形固定資産		
ソフトウェア	17,882	14,631
ソフトウェア仮勘定	11,550	—
リース資産	—	21,048
その他	3,460	3,352
無形固定資産合計	32,893	39,032
投資その他の資産		
投資有価証券	16,129	16,606
長期貸付金	27,864	26,598
長期前払費用	63,215	73,821
差入保証金	264,199	256,960
繰延税金資産	218,779	232,214
その他	44,960	43,288
投資その他の資産合計	635,150	649,488
固定資産合計	2,462,322	2,609,121
資産合計	3,857,991	4,232,105

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年7月31日)	当第2四半期会計期間 (2024年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	176,267	202,170
1年内返済予定の長期借入金	206,019	233,504
リース債務	37,054	44,851
未払金	252,385	293,826
未払費用	55,214	50,090
未払法人税等	13,777	70,051
未払消費税等	97,398	58,247
預り金	18,353	9,353
前受収益	4,757	4,757
契約負債	5,420	6,608
賞与引当金	34,225	53,760
株主優待引当金	7,029	3,912
その他	143	93
流動負債合計	908,047	1,031,227
固定負債		
社債	300,000	300,000
長期借入金	853,787	964,508
リース債務	84,785	121,946
長期末払金	107,700	107,230
資産除去債務	173,869	177,868
その他	14,849	16,081
固定負債合計	1,534,991	1,687,634
負債合計	2,443,038	2,718,862
純資産の部		
株主資本		
資本金	664,419	669,467
資本剰余金	586,769	591,817
利益剰余金	168,884	254,329
自己株式	△1,526	△1,684
株主資本合計	1,418,547	1,513,929
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△3,595	△686
評価・換算差額等合計	△3,595	△686
純資産合計	1,414,952	1,513,243
負債純資産合計	3,857,991	4,232,105

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2022年8月1日 至2023年1月31日)	当第2四半期累計期間 (自2023年8月1日 至2024年1月31日)
売上高	2,584,757	2,950,191
売上原価	680,742	769,863
売上総利益	1,904,014	2,180,328
販売費及び一般管理費	1,887,595	2,026,308
営業利益	16,418	154,019
営業外収益		
受取利息	190	175
受取配当金	168	177
不動産賃貸料	18,002	22,532
その他	2,909	6,560
営業外収益合計	21,270	29,446
営業外費用		
支払利息	5,522	4,964
不動産賃貸費用	13,939	17,352
その他	419	4,278
営業外費用合計	19,880	26,594
経常利益	17,808	156,871
特別利益		
固定資産売却益	28,309	—
特別利益合計	28,309	—
特別損失		
固定資産除却損	30	15,650
特別損失合計	30	15,650
税引前四半期純利益	46,088	141,220
法人税、住民税及び事業税	10,430	48,951
法人税等調整額	1,763	△14,717
法人税等合計	12,193	34,233
四半期純利益	33,894	106,986

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2022年8月1日 至2023年1月31日)	当第2四半期累計期間 (自2023年8月1日 至2024年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	46,088	141,220
減価償却費	77,111	80,987
受取利息及び受取配当金	△358	△353
支払利息	5,522	4,964
固定資産売却損益(△は益)	△28,309	—
固定資産除却損	30	15,650
売上債権の増減額(△は増加)	4,837	12,302
棚卸資産の増減額(△は増加)	△4,448	△10,361
仕入債務の増減額(△は減少)	28,256	25,902
賞与引当金の増減額(△は減少)	△12,897	19,535
その他	55,108	16,510
小計	170,941	306,357
利息及び配当金の受取額	171	180
利息の支払額	△5,436	△4,990
協力金の受取額	81,060	—
法人税等の支払額	△45,843	2,327
営業活動によるキャッシュ・フロー	200,892	303,875
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の売却による収入	389,142	—
有形固定資産の取得による支出	△61,679	△162,185
無形固定資産の取得による支出	△1,934	△420
敷金及び保証金の差入による支出	△3,011	△13
その他	322	17,068
投資活動によるキャッシュ・フロー	322,840	△145,549
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	250,000
長期借入金の返済による支出	△405,139	△111,794
社債の償還による支出	△100,000	—
自己株式の取得による支出	△169	△158
リース債務の返済による支出	△23,073	△23,077
配当金の支払額	△21,459	△21,538
その他	9,139	11,550
財務活動によるキャッシュ・フロー	△540,701	104,981
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△16,969	263,307
現金及び現金同等物の期首残高	1,116,734	916,085
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,099,764	1,179,393

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。